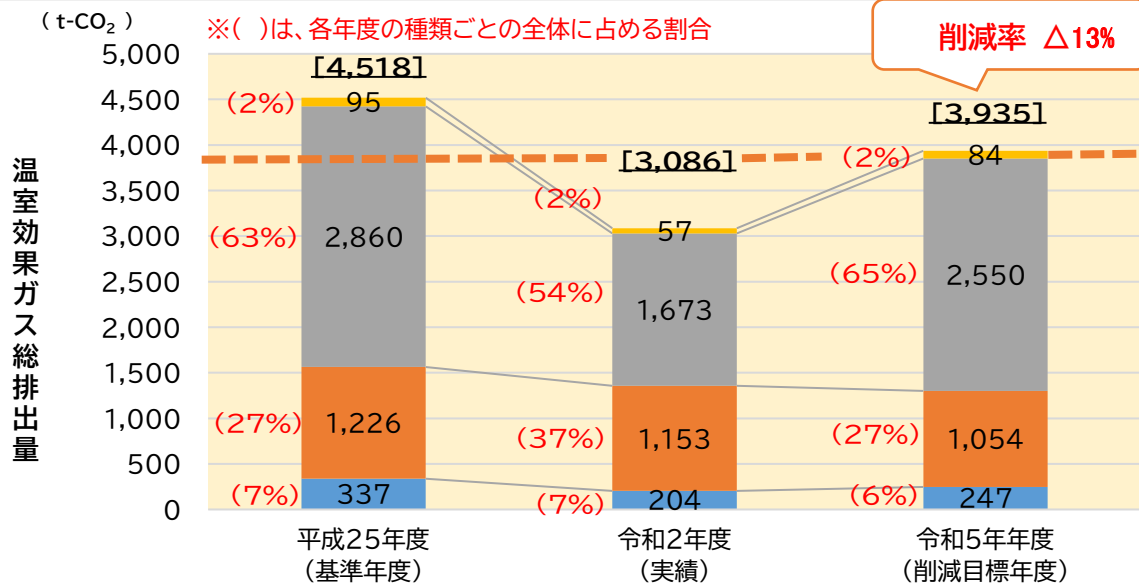


令和2年度 温室効果ガス排出量結果

※端数処理のため合計が合わない場合があります。（単位:t/CO₂）

ガス種及び排出要因		基準年度	実績		削減目標年度	
		平成25年度	令和2年度	削減率	令和5年度	削減率
エネルギー起源 二酸化炭素	燃料の使用(自動車)	337	204	△ 39.6%	247	△ 26.8%
	燃料の使用(施設)	1,226	1,153	△ 6.0%	1,054	△ 14.0%
	電気の使用	2,860	1,673	△ 41.5%	2,550	△ 10.8%
		4,423	3,029	△ 31.5%	3,851	△ 12.9%
メタン		59	37	△ 37.3%	52	△ 11.5%
一酸化二窒素		34	18	△ 46.9%	30	△ 12.6%
ハイドロフルオロカーボン		2	2	△ 19.6%	2	△ 6.6%
		4,518	3,086	△ 31.7%	3,935	△ 12.9%



※その他の温室効果ガス:メタン・一酸化窒素・ハイドロフルオロカーボンの合計

《総評》

令和2年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度(平成25年度)と比較して約31.7%(1,432t-CO₂)の削減となり、削減目標年度における温室効果ガス総排出量の削減率を達成することができました。

その主な要因としては、前計画から引き続き設定した「市職員の率先行動」に基づく、昼休み時間帯の消灯等による節電対策等の実施、また、過去に行ったLED照明機器の導入や空調設備の使用燃料の切替等が結果に繋がったと考えられます。一方で、昨年度に引き続き、温室効果ガス算出時に用いる電気事業者別排出係数が減少したことにより、結果として、本市で最も温室効果ガスに影響を与える“電気の使用による二酸化炭素の排出量”が減少したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響や工事に伴う一部の施設の休館による電気使用量等が減少したことも大きな要因として考えられます。

これらが解消されたとしても、削減率を維持するために、今後も引き続き、使用量そのものを減らすことができるよう、職員一人ひとりが計画に基づき取組を徹底してまいります。